ここに注目

合併して旧長の町長以下４役、議員をバッサリカットしました。この１年分の経費節減が５億４千万円です。――さて諫早市には諫早市土地開発公社というものがあります。ここで所有する土地が、貝津町の創成館中高の隣接地（面積 67,092 ㎡・簿価9 億 6,378 万円・保有年数 25 年）を始めとして面積約 22 万㎡・簿価約 90 億円分あります。明日の諫早市に貢献する土地もありますが、いわゆる「塩づけ」どうにも動かしようのない土地もかなりあるようです。この土地の引き取り先、処分先を早急に検討し、いわゆる「毎日の出費」である利子を少しでも抑えることが喫緊の責務かと思います。（行財政改革委員会の会議から）

※簿価とは・・該当資産の取得原価

応援メッセージ

森誠司さま・裕子さま《森商会社長ご夫妻》

私達は北島君の同級生です。小学校時代から大きな顔・大きな声・陽気で明るい守幸君ことモリンちゃん。皆から一目おかれ、いつも中心的な存在でした。笑顔を絶やすことなく、場の雰囲気を盛り上げ最初から最後まで北島君にリードしてもらいました。何か問題がある時、先生に上手に話を持っていっていたのも北島君でした。小学校の頃から現在まで、何かある時の**「北島頼み」**は、私達同級生の中では変わらないところです。

私達は生まれも育ちも多良見町です。昨年、諫早市に合併しましたが、**まだまだ新しい市政に慣れない私達です。**何かをするにしても書類、手続き、申請等、簡素化ではなく複雑にまた時間が倍かかるシステムに変化し、郡部であった多良見町がいかに合理的で進歩していたかを認識させられました。毎月の町報をあれだけ楽しみにしていたのに市報に変わったとたん興味がなくなりました。何故か？あげればきりがありません。慣れない為におこる不便さは慣れたら感じなくなりますが、**市議としての評価は、一日一日の積み重ねによって形あるものに変化していくか、泡となって消えるか不安定なものだと思います。**

このように不安定な状態にある市議会議員を私達は「北島頼み」で北島君にお願いしました。始まったばかりの市政も、１年が過ぎようとしています。どのように変化し、どのように流れていくのか楽しみですが冷静に見つめたいです。北島君が今後、市議として私達の声をどのように伝えてくれるか期待するところです。諫早市多良見町民として、同級生として私達は

北島君を応援し、見守りたいと思います。

石場弘之さま《喜小・喜中同級生》

みなさ～～ん　お元気ですか石場弘之といいます。北島議員（ニックネームはモリモリもりさんで如何？）とは同級生でして鏡に映る我が身もあんなにポチャー或いはデンブリーな感じだと思うと人生を投げ出したくなります。お互いにシッカリと運動して、「冷や汗」ではなくて「スッキリ・サッパリとした汗」を流しましょうね。

さて、諫早市ホームページの議会事務局を開いて、モリさんの質問等を拝見していますが、**子供達の事を考えた質問も多く見受けられ、大変感銘しています。**みなさんも「こんな事おかしいな」「ここを整備して」とかの苦情・意見をモリさんに出し行政に積極的に働きかけて貰いましょう。現在は喜々津中学校 PTA の会長としても活躍され、学校や地域或いは行政との間で活発な活動をされているのは皆さんもご周知のことと思います(-'。)(。'-)。。今年度も引き続き会長をされるということを伺っていますが（すばらしい！！）**僕たちと一緒に地域の子供達を見守っていきましょう。**PTA 一つ考えても**市と旧郡（町）では文化に大きな差があり少しずつ融合していることと思いますが**、最良な PTA 活動ができるようにおおいに汗をかいてくださいね。

最後に一言、彼はドタドタとしていますがフットワークは非常に軽いので、地域のために多いに走って貰いましょう。**我々の仲間としてまた地域の代弁者として Fait！**

園田郁子さん　《喜中ＰＴＡ役員》

私は北島守幸市議を応援しています多良見町在住の園田です。北島さんのお子さんと私の子供が幼稚園で一緒だったころから存じ上げております。昔から子煩悩で、学校行事にもまめに参加され子供達を優しく見守る姿がとても印象的でした。

北島さんは、豪快で声が大きく裏表のない責任感の強い方です。犬に例えると**セントバーナード**、乗り物に例えれば**ブルドーザー**です。セントバーナードは人命救助犬として活躍する犬ですし、ブルドーザーは道を切り開く建設になくてはならない機械です。北島さんは**行動力のある優しく力持ち**の文字通りの方なのです。

地域においても喜々津中学校のＰＴＡ会長を快く引き受けていただき、教育や文化活動に積極的に携わっておられます。私たちもＰＴＡ活動に楽しく参加することが出来、大変感謝しております。昨年の合併で多良見町より諫早市議として活躍されていますが、益々、諫早市、多良見町の為に働いていただける**北島守幸市議を、これからも応援していきたいと思います。**

10カ月を振り返って

2月14日は一気に春めいて寒い冬の記憶などどこかへ消えてしまった。妻（＝編集者＝パソコンのスペシャリスト＝勅道修正隊長）からの要請で、この10ヶ月を振り返ってを書けとの事。その前についでてくるのは、本日バレンタインディのこと。思い起こせば二五年前、体重60㌔ちょっと、髪もふさふさのころ、新入社員一年生はモテモテ！20個くらいチョコをもらって大満足。あとにも先にもただの一度だけのスター気取りの日だった。――遠い日のことはともかく、この一年めまぐるしい日々であった。今わりと当たり前のように通っている市役所本所も去年の今頃は「縁のないところ」だった。多分過去に10回位しか市役所には行ったことがなかったと思う。そんなところに今日は○○、明日は○○と、かつての多良見町役場に通うように通う日々。受付の女性のいつもにこやかな応対は、これは本当にうれしいかぎり。心がすきっとします。**「大きいことはいいことだ」**との理由で合併を推進し、その通りになり選挙を経て今日に至っているわけだが人口十四万五千人、**九州第13位の「まち」**として、また県央の核として県都長崎市、県北の要佐世保市とはまた違った味を出していきたいものだ。**新幹線、諫早湾干拓等、**国政レベルの大プロジェクトを抱え楽しみも苦しみもある。11月にあった決算委員会では、まるまる一ヶ月夜遅くまで各旧1市5町を吟味した。「う～ん」と唸るほどの、ちょっとお粗末なある旧町の取り組みを、はじめてその中身をみせてもらったわけだが、せっかく一つの「まち」になったことだし、大きな目長―い目で見ていきたい。幸い「行財政改革委員会」にも所属させて頂いていることだし、ここはじっくり**日本の基礎となる地方の自治体は「かくあるべし」**という方向性をしっかり見定めたい。親しく語らう同僚議員も考えてみればわずか10ヵ月の付き合い。しかし、目指すもの、考え方、「心」が通じているので馴染みは早い。市役所周辺のおいしいちゃんぽん屋さん、定食屋さん、それに本家本元市役所の食堂も私の大きな見方。昼飯の楽しみがないと力が入らない。多少おおげさな表現になるが私の人生の中で今、どのあたりを歩いているのか、それはわからない。しかし、まわりに恵まれ楽しみながら、夢がふくらんでいることだけは言えると思う。周りに感謝しつつ「この10ヶ月」をしめくくることにする。